

.....

館園名 : 香川県文化会館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1966年 04月 01日

所在地

・ 〒760-0017 香川県高松市番町 1-10-39

公式サイト

・ <http://>

設立主体

・ 香川県

運営主体

・ 香川県 (教育委員会)

設立目的

・ 展覧会、音楽会、講演会、茶会など全ての文化活動の場として提供することを目的としてきたが、現在は美術の分野に重点をおいて (美術館として) 機能。

展示概要

・ 美術全般。

活動概要

・ 展覧会、講演会、ワークショップを開催。

延床面積

・ 4599.66 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 11名 (2005年 1月現在)

年間運営費

・ 円 (2003年度)

総資料点数

・ 約 1900点 (2005年 1月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：かがわ美術ボランティア With

活動目的・経緯

・市民と美術館の掛け橋となるべく設置。展示室でのギャラリートーク（GT）から始まり、現在、GT、資料整理、広報の3分野で活躍。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 30名（2005年1月現在）
- ・ 男性：8名、女性：22名
- ・ 平均年齢 55歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：事業課
- ・ 担当人数：常勤職員3名（主1、副2）・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ GT。
- ・ 資料整理。（収蔵図録、雑誌、紀要等のデータ入力）
- ・ 広報。（展覧会チラシなどの配布）
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・館が運営主体。ただしGTの方法やその他の勉強会などの活動はボランティアグループが計画、運営。
月1回ボランティア主体の例会。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①ギャラリートーク

◇活動開始年（西暦）

- ・1997年

◇活動人数

- ・15名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・県文化会館が主催する展示会でギャラリートーク。
（平均して2回／月、ひとりあたり）

◇活動日

- ・展覧会中の火・土・日・祝 1：30PM～3：30PM。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・備品・ボランティア室。全体共通の資料のコピー。

◇運営（シフト 等）

- ・例会で協議。

◇交流（情報、組織 等）

- ・月1回の例会、展覧会前の事前学習会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・年1回の募集。18才以上の方、面接にて選考。1年ごとの更新、定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・養成講座（6回程度）、展覧会ごとの研修、2回／1展覧会につき。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボラ保険は館が負担。その他は無。

◇評価

- ・展覧会で好評。
- ・人あたりのやさしいトーク、来館者と同じ目線での解説が人気。

◇課題と展望

- ・展覧会での人気が高まるにつれて、人員不足が問題。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②資料整理

◇活動開始年（西暦）

- ・2001年

◇活動人数

- ・14名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・雑誌・紀要等のデータ入力、新聞の切り抜き・スクラップ、ボランティア誌の作成。

◇活動日

- ・月1回例会。2～3日／月：ひとりあたり。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・備品・ボランティア室。全体共通の資料のコピー。

◇運営（シフト 等）

- ・2～3日／月：ひとりあたり。

◇交流（情報、組織 等）

- ・例会で協議・意思疎通、打ち合わせ。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・年1回の募集。18才以上の方、面接にて選考。1年ごとの更新、定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・養成講座（6回程度）、展覧会ごとの研修、2回／1展覧会につき。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボラ保険は館が負担。その他は無。

◇評価

- ・なし。

◇課題と展望

- ・データ入力など資料整理の効率をよくすることが課題。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③広報

◇活動開始年（西暦）

- ・2002年

◇活動人数

- ・1名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・近隣（身近な人々への）チラシの配布。

◇活動日

- ・年3回程度。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・備品・ボランティア室。全体共通の資料のコピー。

◇運営（シフト 等）

- ・特になし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・年1回の募集。18才以上の方、面接にて選考。1年ごとの更新、定年制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・養成講座（6回程度）、展覧会ごとの研修、2回/1展覧会につき。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボラ保険は館が負担。その他は無。

◇評価

- ・なし。

◇課題と展望

- ・1名しかいないので、さらに人数を増やして、活動の幅を広げたい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 瀬戸内海歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1973年11月03日

所在地

- ・ 〒761-8001 香川県高松市亀水町1412-2

公式サイト

- ・ <http://www.pref.kagawa.jp/setorekishi/>

設立主体

- ・ 香川県

運営主体

- ・ 香川県

設立目的

- ・ 瀬戸内地方の貴重な考古、歴史、民俗資料を調査、収集、保管、展示し、地方文化の保存と振興に寄与することを目的に設立。

展示概要

- ・ 民俗資料、歴史資料、考古資料13万点余を収蔵。
- ・ 第1・2展示室「海のくらしと祈り・農村の四季」、第3展示室「近世瀬戸内の廻船」、第4展示室「機帆船がはしる」、第5・6展示室「櫓・櫂・舵—櫓屋の仕事と道具—・瀬戸内十州塩田とエブリ大工」、第7展示室「古代・中世の海上交通」、第8展示室「いにしへの瀬戸内の漁業」。

活動概要

- ・ 企画展、講演会、土曜講座、親子体験学習を開催。
- ・ 館だより、年報、紀要を刊行。

延床面積

- ・ 4,441.1 m²

全職員数

- ・ 12名

年間運営費

- ・ 32,737千円(2004年度)

総資料点数

- ・ 133,581点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：文化ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 香川県では、県民の多様なニーズに応えるとともに、芸術文化に気軽に触れる機会を提供するため、2001年度より、県立文化施設 5 館（香川県民ホール、香川県歴史博物館、香川県文化会館、瀬戸内海歴史民俗資料館、香川県埋蔵文化財センター）で文化ボランティアの募集を行っている（2005年度より、東山魁夷せとうち美術館を加え、6館）。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 17名（2005年）
- ・ 男性：10名、女性：7名（ 年）
- ・ 平均年齢 58歳：男性 62.6歳、女性 51.4歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：調査普及課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示案内、②資料整理、③広報活動・イベントの補助、④環境整備。

活動その他

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示案内

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 2名(2005年)

◇活動内容

- ・ 常設展の展示解説。

◇活動日

- ・ 月に1~2回。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ ボランティア活動費として、62,000円を計上。

◇運営(シフト等)

- ・ 月ごとに、ボランティアから希望日を出してもらい、職員が調整。

◇交流(情報、組織等)

- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 2月~3月にかけて、県立文化施設6館が共同で募集チラシを配布。
- ・ 資格:18歳以上。面接にて選考。登録人数:20名程度。定年、任期なし。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 事前研修(県主催1回、館主催1回)、展示解説実務研修(3~5回程度)を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 館負担で保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動人数を増やし、解説を充実させたい。

◇その他

- ・

活動個別シート ②資料整理

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 15名(2005年)

◇活動内容

- ・ 民俗、歴史、考古の各分野に分かれ、職員とともに館所蔵資料の整理にあたる。

◇活動日

- ・ 月～金曜日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ ボランティア活動費として、62,000円を計上。

◇運営(シフト等)

- ・ 月末に、翌月の活動日をボランティアに配布し、希望を募り、職員が日程調整。

◇交流(情報、組織等)

- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 2月～3月にかけて、県立文化施設6館が共同で募集チラシを配布。
- ・ 資格：18歳以上。面接にて選考。登録人数：20名程度。定年、任期なし。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 事前研修(県主催1回、館主催1回)、展示解説実務研修(3～5回程度)を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 館負担で保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 職員に帯同しての業務になるので、ボランティアの受け入れ人数、回数、日程に制限が生じる。
- ・ 日程等の調整が行えるリーダーを養成したい。

◇その他

- ・

活動個別シート ③広報活動・イベントの補助

◇活動開始年

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 4 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 館発行のチラシなどの封筒詰め。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア活動費として、62,000 円を計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 月末に、翌月の活動日をボランティアに配布し、希望を募り、職員が日程調整。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2 月～3 月にかけて、県立文化施設 6 館が共同で募集チラシを配布。
- ・ 資格：18 歳以上。面接にて選考。登録人数：20 名程度。定年、任期なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (県主催 1 回、館主催 1 回)、展示解説実務研修 (3～5 回程度) を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 館負担で保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 各地域において、広告塔の役割を果たして頂きたい。

◇その他

- ・

活動個別シート ④環境整備

◇活動開始年

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 5 名 (2005 年)

◇活動内容

- ・ 館周辺の除草。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア活動費として、62,000 円を計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ ボランティアが、希望日に来館し、各自で活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2 月～3 月にかけて、県立文化施設 6 館が共同で募集チラシを配布。
- ・ 資格：18 歳以上。面接にて選考。登録人数：20 名程度。定年、任期なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修 (県主催 1 回、館主催 1 回)、展示解説実務研修 (3～5 回程度) を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 館負担で保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 高松市美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1989年08月06日

所在地

- ・ 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4

公式サイト

- ・ <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/bijyutu/index.html>

設立主体

- ・ 高松市

運営主体

- ・ 高松市

設立目的

- ・ 開かれた都市型美術館にふさわしい芸術・文化活動の拠点施設として、地域文化の向上に寄与すること。

展示概要

- ・ 収集方針：戦後日本の現代美術／20世紀の世界の美術（版画）／香川の工芸（漆工・金工）。
- ・ 常設展示室に所蔵作品を年間5期に分けて、その都度テーマを決めて紹介。

活動概要

- ・ 特別展
- ・ ミュージウムコンサート
- ・ ギャラリートーク（学芸員、ボランティア）
- ・ 常設展
- ・ 講演会・鑑賞講座（小人向）
- ・ 実技講座（成人向、小人向）

延床面積

- ・ 9,876 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 11名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 約320,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約1,400点（2004年12月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：高松市美術館ボランティア civi (シヴィ)

活動目的・経緯

- ・ (活動目的) 特別展ギャラリートークなど美術館活動を一般市民に能動的にアピールすることにより、鑑賞者の美術館および美術作品への興味関心を高めること。
- ・ (経緯) 1988 年末メンバー募集、養成期間を経て、1999 年 10 月ギャラリートーク開始、以降、活動の幅を広げ、また 2 度の新メンバー募集を経て現在に至る。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 31 名 (2004 年 12 月現在)
- ・ 男性：1 名、女性：30 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員 (2004 年 12 月現在)

- ・ 部局名称：美術課
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他 () 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 特別展におけるギャラリートーク。
- ・ 広報誌「しびのーと」の編集。
- ・ 団体鑑賞、ワークショップ時のアシスタント etc。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 定例会（月 1 回）、ギャラリートークの前に学芸員によるレクチャーおよび展示室での①ギャラリートークリハーサル、②勉強会、③研修旅行等実施。
③と②、これらはボランティアによる自主活動。

関連する出版物

- ・ 広報誌「しびのーと」

関連するHP

- ・ <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/bijyutu/index.html>
↑美術館 HP (この中にボランティアコーナー有)

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート ①ギャラリートーク

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 31 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 特別展におけるギャラリートーク。

◇活動日

- ・ 特別展会期中毎日曜、祝日 11 時、14 時～

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動保険の公費による加入（年間 1 人 500 円）、控え室の提供、特別展図録の提供、特別展・常設展の入場料免除。

◇運営（シフト 等）

- ・ 3 班に分かれ、それぞれに班長を置く。別に、全体の代表・副代表を置く。班長、代表、副代表が、連絡、シフト決め等のとりまとめをする。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 定例会（月 1 回）、勉強会、研修（旅行）、電話連絡、メールによる連絡（メール使用者のみ）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集は不定期、過去に 3 回募集、申込書・小作文（800 字）の提出、面接の実施、1 年ごとに継続意志を確認、18 才以上。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 採用時には養成講座を実施、以降は必要に応じて研修を実施、ボランティア発足当初は外部講師を招いていたが、近年は予算がないため、学芸員が講師を務めるか、ボランティアが資金を出し、自主的に外部講師を招くなどしている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険の公費による負担のみ。

◇評価

- ・ 議会からボランティア設置要請もあり、活動しているが、来館者、議会からも好評を得ている。

◇課題と展望

- ・ 予算不足にともない、外部講師を招いての研修ができていない。予算不足と活動の多忙により研修の不足が慢性化しているが、研修は資質向上に加え、気分のリフレッシュの機能もあるので、なんとか、充実させたいと願っている。

◇その他

- ・ 男女構成比：女性 30 名、男性 1 名

活動個別シート ②広報誌「しびのーと」の編集

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 31 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 広報誌「しびのーと」の編集（記事の執筆）。

◇活動日

- ・ 年 2 回発行。編集ミーティング、読みあわせを実施。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ デザイン、印刷代は公費により負担。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各班が毎回交代で、学芸員も編集に加わる（まとめ役）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 定例会（月 1 回）、勉強会、研修（旅行）、電話連絡、メールによる連絡（メール使用者のみ）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集は不定期、過去に 3 回募集、申込書・小作文（800 字）の提出、面接の実施、1 年ごとに継続意志を確認、18 才以上。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 採用時には養成講座を実施、以降は必要に応じて研修を実施、ボランティア発足当初は外部講師を招いていたが、近年は予算がないため、学芸員が講師を務めるか、ボランティアが資金を出し、自主的に外部講師を招くなどしている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険の公費による負担のみ。

◇評価

- ・ 議会からボランティア設置要請もあり、活動しているが、来館者、議会からも好評を得ている。

◇課題と展望

- ・ デザイン費の予算カット、印刷費の予算減により、近年発行に支障をきたしている。

◇その他

- ・ 単なる活動報告にとどまらず、美術（館）に興味をもってもらえるような内容となるよう心がけている。美術館の広報誌としての機能を併せもつ。

活動個別シート ③団体鑑賞、ワークショップ時のアシスタント

◇活動開始年（西暦）

- ・ 不明年（活動が安定してきた頃から、依頼しています）

◇活動人数

- ・ 31名（2005年01月現在）

◇活動内容

- ・ 団体鑑賞、ワークショップ時のアシスタント。

◇活動日

- ・ 団体鑑賞、ワークショップ開催時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動保険の公費による加入（年間1人500円）、控え室の提供、特別展図録の提供、特別展・常設展の入場料免除。

◇運営（シフト 等）

- ・ 3班に分かれ、それぞれに班長を置く。別に、全体の代表・副代表を置く。班長、代表、副代表が、連絡、シフト決め等のとりまとめをする。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 定例会（月1回）、勉強会、研修（旅行）、電話連絡、メールによる連絡（メール使用者のみ）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集は不定期、過去に3回募集、申込書・小作文（800字）の提出、面接の実施、1年ごとに継続意志を確認、18才以上。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 採用時には養成講座を実施、以降は必要に応じて研修を実施、ボランティア発足当初は外部講師を招いていたが、近年は予算がないため、学芸員が講師を務めるか、ボランティアが資金を出し、自主的に外部講師を招くなどしている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険の公費による負担のみ。

◇評価

- ・ 議会からボランティア設置要請もあり、活動しているが、来館者、議会からも好評を得ている。

◇課題と展望

- ・ この活動は、団体鑑賞、ワークショップ時の慢性的なスタッフ不足解消のため、学芸員から発案され、それに教育普及活動に関心のあるボランティアメンバーが呼応するかたちで実現されている。美術館としては近年、学校との連携強化にとりくんでいるので、更なる充実を期待している。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 高松市歴史資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1992年11月3日

所在地

・〒760-0014 香川県高松市昭和町1-2-20

公式サイト

・<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bukabu/rekisi/>

設立主体

・高松市

運営主体

・高松市歴史資料館

設立目的

・高松市の歴史・考古・民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため。

展示概要

・原始・古代から現代に至るまでの高松の歴史を実物資料・模型・レプリカ・グラフィック・映像等により展示するほか、学習室では映像システムやコンピューターを利用して、小学生も楽しみながら高松の歴史に関する情報を選択して得られるようにしている。

活動概要

・高松市の歴史・考古・民俗などに関する資料の収集・保管・調査研究を行うとともに展示及び情報の提供並びに教育普及活動を実施している。

延床面積

・3,545 m²

全職員数（常勤職員）

・5名（H17年1月現在）

年間運営費

・47,714,754円（2003年度）

総資料点数

・44,296点（H16年3月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・資料調査ボランティア

高松市内に眠っている歴史・考古・民俗などの資料を市民の協力のもとに探し出すことを目的としている。

- ・古文書解読ボランティア

古文書の解読に当たる職員などの絶対数が不足しているためボランティアをお願いしている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 40名（平成16年3月現在）
- ・ 男性：32名、女性：8名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（平成17年1月現在）

- ・ 部局名称：高松市歴史資料館
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ）名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・資料調査ボランティア。
- ・古文書解読ボランティア。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：資料調査ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・1998年

◇活動人数

- ・32名（平成16年8月現在）

◇活動内容

- ・高松市に関する歴史・考古・民俗及び映像資料などの所在地・内容などを調査する。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・年に1回、研修会を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・毎年6月頃、広報誌に掲載して募集を行う。
- ・募集人員20名程度。
- ・任期1年（更新あり）

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・年に1回、研修会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：古文書解読ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 8 名（平成 17 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 古文書の解読。

◇活動日

- ・ 毎月、第 1・第 3 土曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 平賀源内先生遺品館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1967年05月07日遺品陳列館（旧邸を改造）1979年03月05日現遺品館

所在地

- ・ 〒769 - 2101 香川県さぬき市志度46-1

公式サイト

- ・ <http://ew.sanuki.ne.jp/gennai/>

設立主体

- ・ 志度町（現在 さぬき市）

運営主体

- ・ 財団法人 平賀源内先生顕彰会

設立目的

- ・ 当顕彰会は、平賀源内先生の遺業を永く顕彰し、わが国文化の向上に資することを目的とする。

展示概要

- ・ 平賀家に残る遺品及び関係する品々を中心に、現在は源内先生の業績として波及する諸々にも範囲を拡げ、蒐集展示している。
- ・ 隣接して平賀源内先生旧邸と薬草園・銅像がある。

活動概要

- ・ 遺品の保存・管理、旧邸の維持。
- ・ 源内祭の挙行。
- ・ 平賀源内発明くふう展の実施。
- ・ 追善法要。

延床面積

- ・ 53.58 m²（遺品館）+156.75 m²（旧邸）=210.33m²

全職員数（常勤職員）但し出勤は1日1名で交代

- ・ 3名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 6,072,007円（2003年度）

総資料点数

- ・ 150点（2004年12月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：文化サロン源内

活動目的・経緯

- ・ 平賀源内を学ぶことにより、自らの人生を豊かにするとともに、会員相互の親睦をはかる。
- ・ 1994年、顕彰会の若手メンバーで「四方平会」を発足し、活動を始める。
- ・ 1998年、四方平会が杏和人となり、「文化サロン源内」を発足させる。平賀源内研究を広く、深く、楽しみながら、親しんでもらえる会として、月1回のペースで活動する。顕彰会からも補助を受けず、全て会費と寄附で運営する。
- ・ 2002年 平賀源内記念館（仮称）建設が具体化し、説明ボランティア養成を目的に「源内塾」を発足させる。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 121名（2004年04月現在）
- ・ 男性：67名、女性：54名
- ・ 平均年齢 約62歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 0名・その他（ ） 0名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①学習会②講演会。
- ・ 研究発表。
- ・ 臨地研修会（日帰り）・ふれあいの旅（1泊以上）。
- ・ 実習＝エレキテル作り、源内焼、浄瑠璃、薬草。
- ・ 遺品館説明ボランティア、薬草園・銅像庭園の剪定清掃。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ 会報「文化サロン源内」

関連するHP

- ・ <http://ew.sanuki.ne.jp/gennai/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・